

働く女性は、結婚したい！？

福岡県女性の結婚観に関する実態調査アンケート



2013年6月

株式会社アヴァンティ

avanti働く女性研究所事務局

婚活にもはや疲れを感じている女性が多いともいわれる最近。一時期の婚活ブーム、大震災後の絆婚…。そんな“結婚ブーム”もすっかり落ち着いた昨今、女性は“結婚”について、どう思っているのか？福岡女性たちの“今”の結婚観を探ります。また、既婚女性の経験談から結婚をつかむためのヒントを考えます。

【調査概要】

1. 調査データ

avanti働く女性研究所

2. 調査対象

福岡県内在住の女性

3. 調査期間

平成25年4月30日～5月20日

4. 調査方法

avanti働く女性研究所
登録メンバーに対する
インターネット調査

5. 調査規模

100サンプル
(未婚59名、既婚34名、
経験あり未婚7名)

【回答者属性】

●年齢

20歳～24歳	6.0%	40歳～44歳	13.0%
25歳～29歳	20.0%	45歳～49歳	9.0%
30歳～34歳	27.0%	50歳以上	7.0%
35歳～39歳	18.0%	合計	100%

●未既婚

未婚	59.0%
既婚	34.0%
経験有	7.0%
	100%

●雇用形態

正社員	64.0%	パート・アルバイト	10.0%
契約社員	7.0%	フリーランス	4.0%
派遣社員	5.0%	休職中	6.0%
経営者	3.0%	合計	100%

●子どもの有無

いる	22.0%
いない	78.0%
	100%

●職種

事務	43.0%	専門職	35.0%
営業	8.0%	管理職	4.0%
販売	1.0%	その他	6.0%
接客	3.0%	合計	100%

1 未婚女性の結婚観

結婚ブームの2009年より、恋人がいる女性は1割以上減少

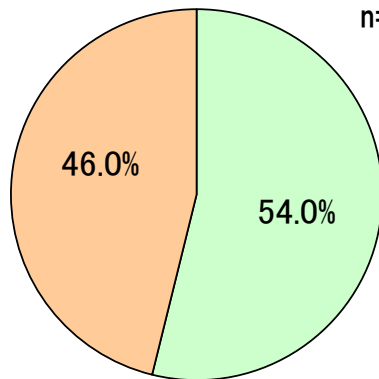
Q1. 現在、交際している相手はいますか？

n=59

【比較】

2009年7月のアンケート結果

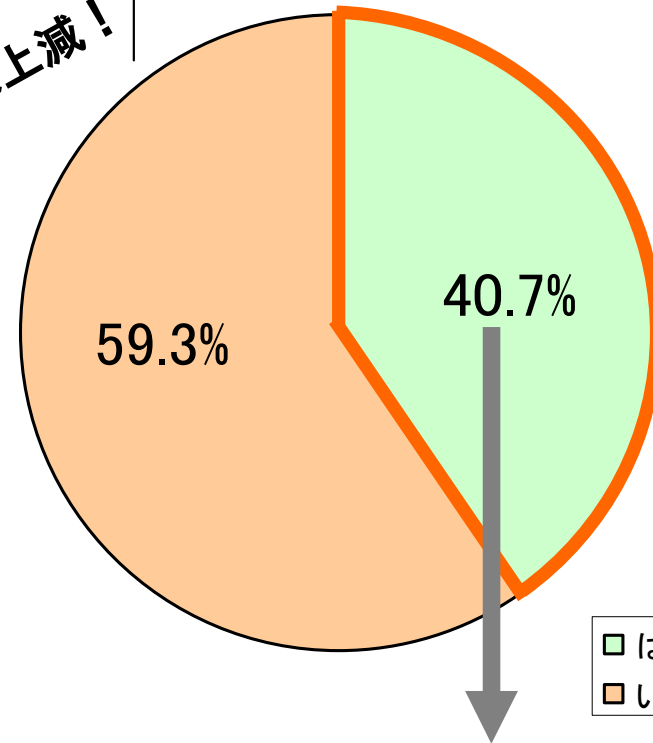
n=130



2009年7月婚活ブームを検証する！アンケート調査結果
(avanti働く女性研究所調べ)



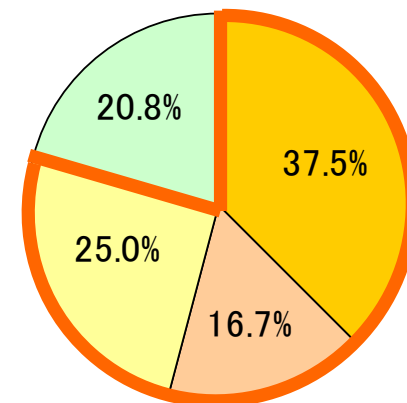
1割以上減！



□ はい
□ いいえ

Q1で「はい」の人へ
現在の彼と結婚したいと思いますか？

n=24



したくない...0%

■ 現在婚約中
■ できるだけ早くしたい
■ いずれはしたい
□ したくない
□ 分からない

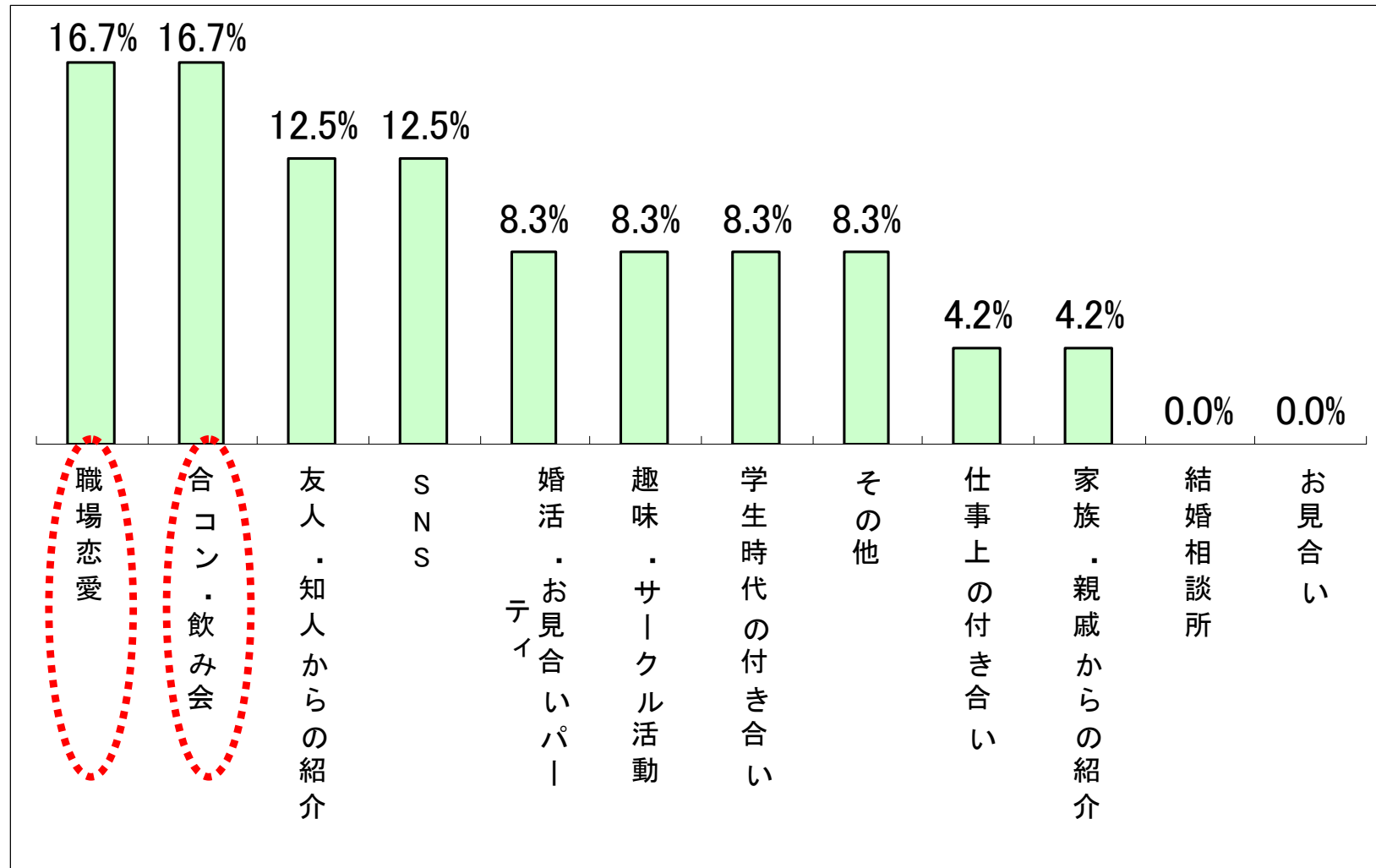
未婚女性のうち、交際相手がいるのは約4割。結婚ブームと呼ばれた2009年と比較すると、交際相手がいる人の割合はなんと約1割以上も下がった結果となった。

また、交際相手がいる女性のうち約8割が「現在の彼と結婚したい」と回答(現在婚約中を含む)。交際相手がいる女性達の結婚願望は、とても高い様子。

職場と合コンが、いちばん身近な出会いの場

Q2. 彼との出会いのきっかけは何でしたか？（現在、交際相手がいる人のみ回答）

n=24

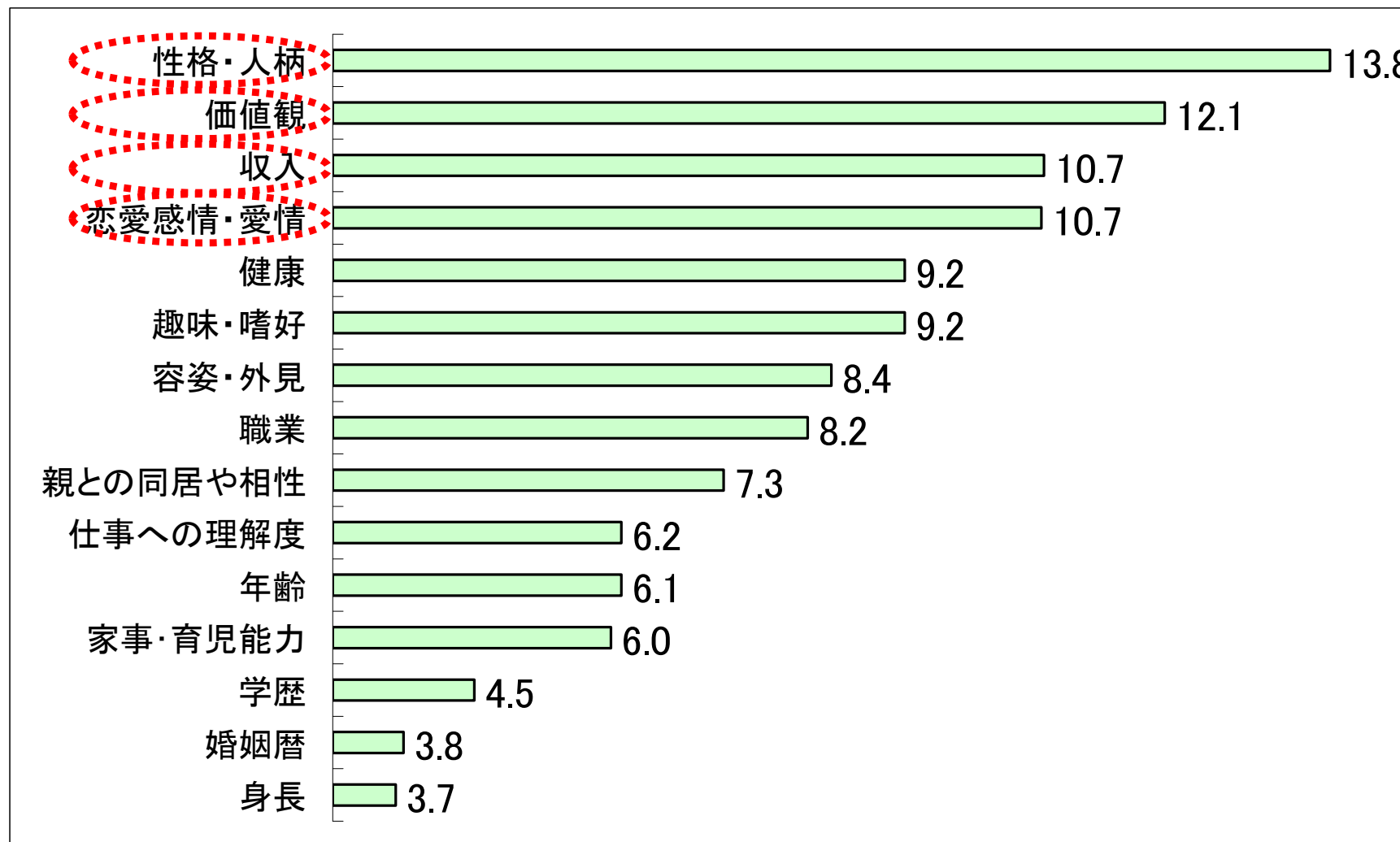


「職場恋愛」「合コン・飲み会」が2トップ。やはり最も身近な職場、そして合コンや飲み会の場が、男女の出会いの場となっているようだ。また第3位には「友人・知人からの紹介」と、人脈に頼る人も多いよう。そして同率3位には「SNS」がランクイン。ネット上のつながりも、今や男女の貴重な出逢いのひとつとなっているようだ。

結婚相手の性格、価値観はもちろん、収入も気になる

Q3. 結婚相手を選ぶ際に重視することは何ですか？（順位付け回答）※順位の高い項目から順に15～1点で集計し、その合計の平均値を算出

n=59

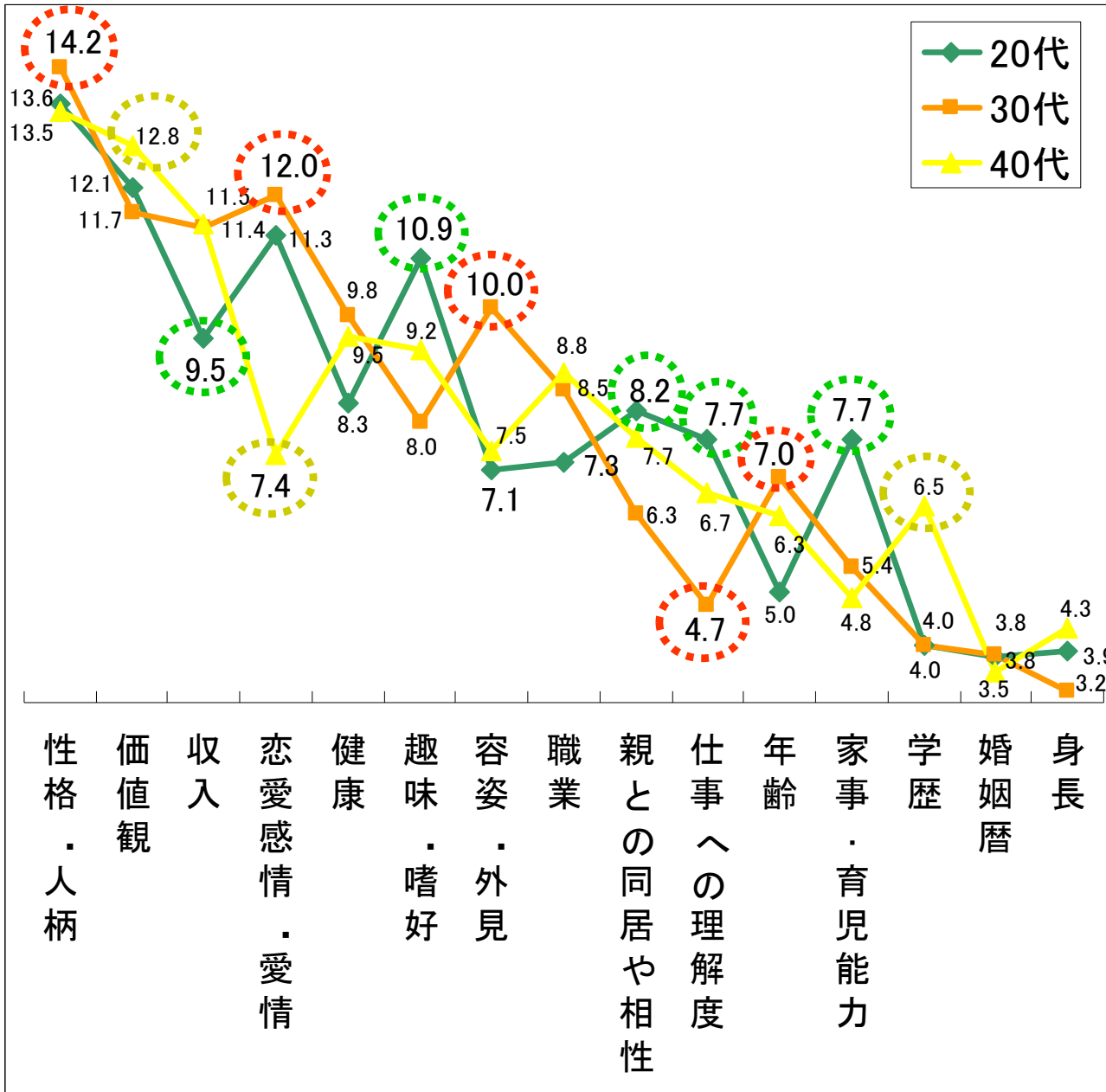


「性格・人柄」が第1位。その後「価値観」「収入」「恋愛感情・愛情」と続く。相手との性格や価値観の一致はもちろん、恋愛感情と同じくらい収入面も気になる。結婚相手だからこそ、冷静な目をもって相手を選んでいる様子。

年代によって変化する、結婚相手へのこだわり

Q3. 【年代別】結婚相手を選ぶ際に重視することは何ですか？（順位付け回答）

n=59



【20代】

他年代より高い項目

趣味・嗜好(10.9P)
親との同居や相性(8.2P)
仕事への理解度(7.7P)
家事・育児能力(7.7P)

他年代より低い項目

収入(9.5P)
容姿・外見(7.1P)
職業(7.8P)
年齢(5.0P)

【30代】

他年代より高い項目

性格・人柄(14.2P)
恋愛感情(12.0P)
容姿・外見(10.0P)
年齢(7.0P)

他年代より低い項目

趣味・嗜好(8.0P)
親との同居や相性(6.3P)
仕事への理解度(4.7P)

【40代】

他年代より高い項目

価値観(12.8P)
収入(11.5P)
学歴(6.5P)

他年代より低い項目

恋愛感情(7.4P)
家事・育児能力(4.8P)

年代別・結婚観はこんなに違う！

Q3の結果をもとに、年代別の特徴をまとめてみました

n=59



【20代】

理想の暮らしを追い求める ライフスタイル重視型

相手の見た目や年齢よりも、趣味や仕事への理解度、家事能力など、ライフスタイルや暮らしの相性を重視。また、親との同居や相性にも敏感で、意外と現実的な一面も持っている。

【40代】

酸いも甘いも経てたどり着いた 冷静な現実重視型

価値観、収入、学歴以外の項目に大きな重視項目がなく、恋愛感情は他年代と比べて最も低い結果に。結婚は、愛よりも妥協、というほどに冷静な一面がみえる。



【30代】

結婚に夢見る夢子 好条件を望む夢見型

相手の性格や人柄、そして相手をお愛せるかどうかを最も重視。さらには見た目、年齢など高望みしている傾向あり。一方で、親との同居や仕事への理解度など、現実的な面にはあまり目を向けていないのか！？



譲れない条件も、多数あり

Q4. 結婚相手を選ぶときに、これだけは譲れないと思っていることを教えてください。
(自由記述)

n=59

福岡市内、もしくは自分の実家の近くに住めること。(30代前半・専門職)

一緒に食事をして不愉快にならないこと。(30代後半・営業)

一人の時間を大切にし、お互いに干渉しすぎない。(30代前半・事務)

相手の勤務地(福岡を離れる可能性があるか)を重視します。生まれ育った福岡を離れたくないから。(30代前半・事務)

食の好み合う人。
(30代後半・事務)

オンとオフのけじめがきちん
とついているといい。(20代前
半・専門職)

双方の親の老後を考えて、
お互いの実家が近いこと。
(30代後半・事務)

タバコを吸わない人。禁煙って簡単にできないと思うので、最初から吸わない人を選びたい。(30代後半・事務)

相手を尊敬できるかどうか。
(40代後半・事務)

私の家族を大切にしてくれるか。
そして、自分の家族も大事にしているか。(40代前半・専門職)

お酒が飲める人。
(20代後半・事務)

海外旅行が好きで、将来海外に移住してもいい人(30代前半・事務)

酒癖の悪くない人。
(30代前半・事務)

体の相性。(30代前半・事務)

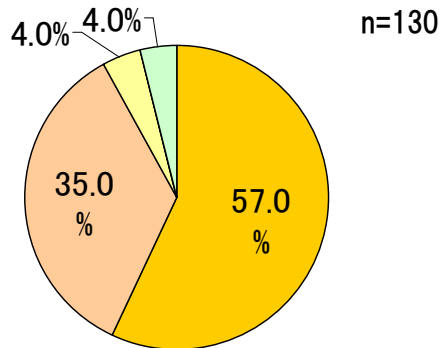
「福岡市内に住んでいるか」「実家の場所」など【相手の居住地】、そして「親を大切にしているか」など【親や家族への愛情】を挙げる人が最も多かった。また「食事」「タバコ」「お酒」など、【食や嗜好品の相性】を気にする人も多数。さらには「干渉しすぎない」「オンとオフのけじめ」「体の相性」など、様々なこだわりや条件が垣間見える。

結婚意識、焦りの減った20代

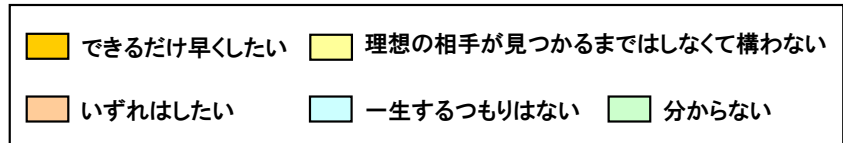
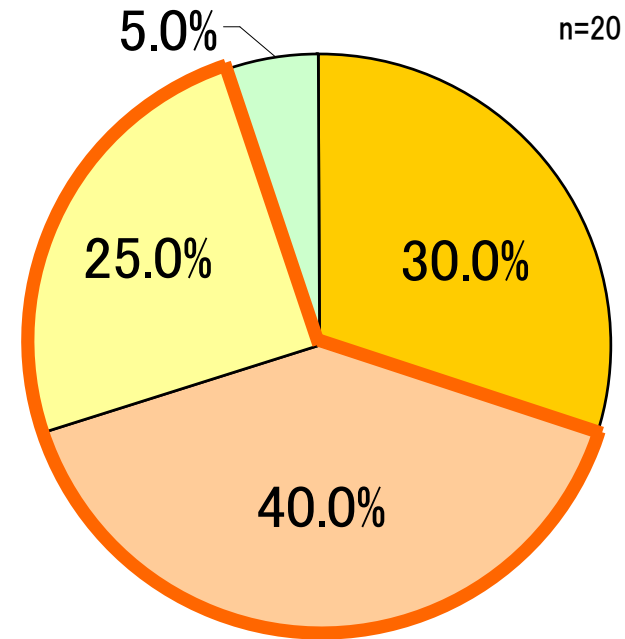
Q5. 【年代別・20代】結婚に対して、どう思っていますか？

<20代>

【比較】2009年7月のアンケート結果



2009年7月婚活ブームを検証する！アンケート調査結果
(avanti働く女性研究所調べ)



20代女性の結婚観、「いずれはしたい」が最多の4割。「理想の相手が見つかるまではしなくて構わない」と合わせると、7割近い人が結婚に焦っていない様子。2009年と比較すると「できるだけ早くしたい」が6割から3割と半数近く減っている。女性達の考える結婚適齢期が30代へと移行しているため、焦りを感じる20代女性が減ったのかもしれない。晩婚化の影響が女性達の意識にも浸透し始めているようだ。

結婚願望の強さは、出産を意識するかどうかで決まる

Q6. Q5の理由を教えてください【20代】（自由記述）

n=20

「理想の相手が見つかるまでしなくて構わない」理由

好きな相手じゃないと、何のために結婚するのか分からない。幸せになりたい。(20代前半・営業)

この人だ、と思う人に出会うまではと思っているので。(20代後半・接客)

結婚に妥協なんてできません！(20代後半・営業)

まだ自分の中で、結婚って何だろうって思っているところがあり、今すぐとは思えない。(20代前半・専門職)

今すぐに、とは考えられないが、結婚願望はあるから。(20代後半・事務)

今は仕事で精一杯なので。(20代前半・営業)

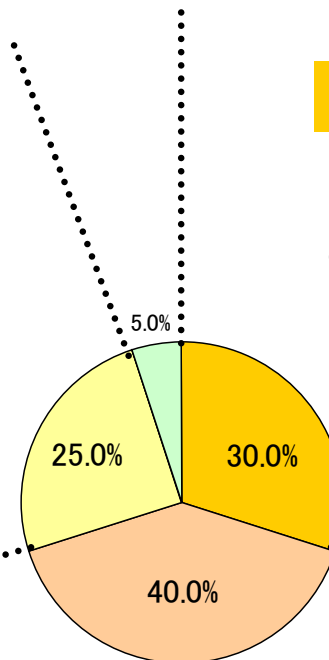
「できるだけ早くしたい」理由

早く子どもがほしいので。(20代前半・接客)

ひとりが不安だから。(20代後半・事務)

早く子どもを生またいから。(20代前半・専門職)

出産は早めにしたかったので。(20代後半・事務)

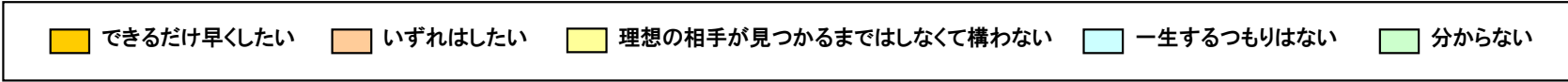


「いずれはしたい」理由

「できるだけ早くしたい」理由、最多は「早く子どもがほしいから」。妊娠・出産を望むかどうかは、結婚願望と直結しているようだ。一方「いずれはしたい」「理想の相手が見つかるまでしなくて構わない」理由は、「今は仕事」「今すぐとは考えられない」など結婚への優先順位が低いこと、または「妥協できない」「この人と思える人になりたい」など結婚への理想や思いが強いことが、主な理由として挙がっている。

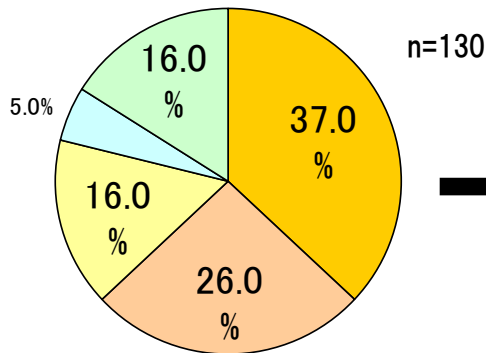
30代の半数以上がすぐ結婚を求む！ 40代は多様化

Q5. 【年代別・30代&40代以上】結婚に対して、どう思っていますか？

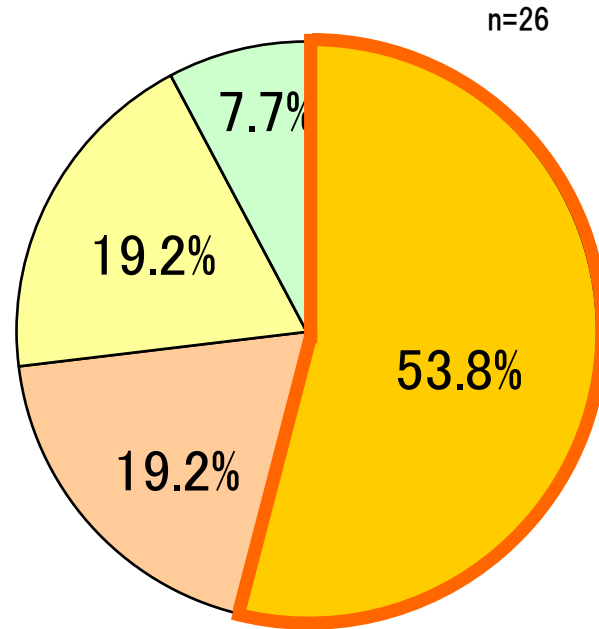


<30代>

【比較】2009年7月のアンケート結果

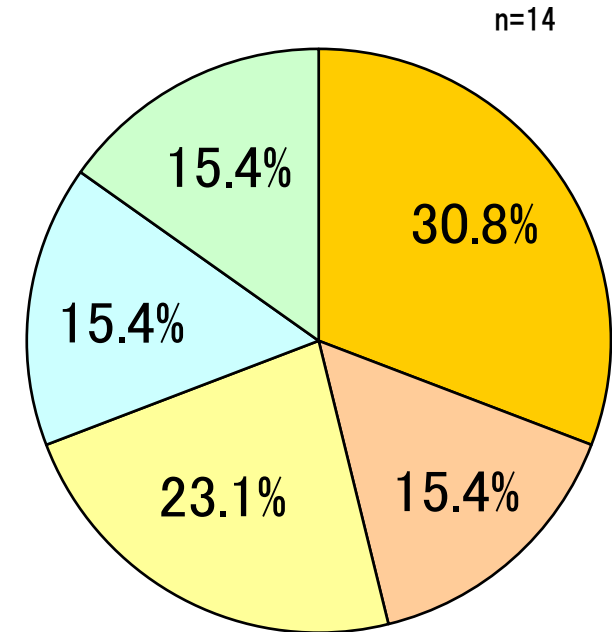


2009年7月婚活ブームを検証する！アンケート調査結果 (avanti働く女性研究所調べ)



30代女性の結婚観、「できるだけ早くしたい」が最多の5割強。2009年と比較すると「できるだけ早くしたい」が2割近く上昇している。結婚に焦る30代女性が増加しているようだ。一方で「いずれはしたい」「理想の相手が見つかるまではしなくて構わない」「分からない」も5割弱はおり、焦る層と急いでいない層とに2分している様子。

<40代以上>



40代は「できるだけ早くしたい」が最多の3割だが、他の項目もそれぞれ2割程度。結婚に対する考え方が多様化している様子が伺える。

子どもがほしい、一人への不安・・・30代の切実な想い

Q6. Q5の理由を教えてください【30代】 (自由記述)

n=26

「理想の相手が見つかるまで
しなくて構わない」理由

結婚する必要性が分
からないので、妥協や
我慢をしてまで他人と
一緒に暮らしたくない。
(30代前半・事務)

一生の相手な
ので、やっぱり
妥協はできない。
(30代前半・事
務)

タイミングがくれ
ばしたい。(30代
後半・事務)

こちらはしたいと思ってい
ても、相手の気持ちの問題
があるので。(30代前半・
事務)

「いずれはしたい」理由

「できるだけ早くしたい」理由

子どもが欲しいので、出産
を考えるとタイムリミットを
感じる。(30代前半・事務)

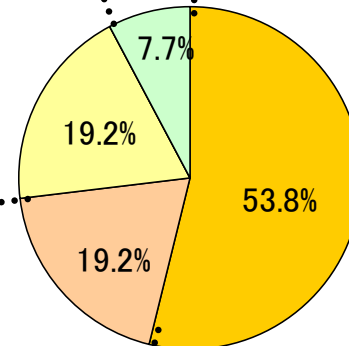
早く結婚して安心
したいので。(30
代後半・専門職)

年齢的にも子供が欲しい
ので。子育てへの体力が
年々低下するときつい
と思う。(30代後半・営業)

できるだけ早く結
婚して、出産の環
境を整えたいから。
(30代後半・事務)

周りの知人は結婚して子
どももいる。自分は恋人
もおらず仕事ばかり。既
婚の友人と会うと、自分
も幸せな家庭を築いて子
どもを育ててみたいと思
う。(30代後半・専門職)

早く出産して、女
性ならではの幸
せを味わいたい
ので。(30代前
半・その他)

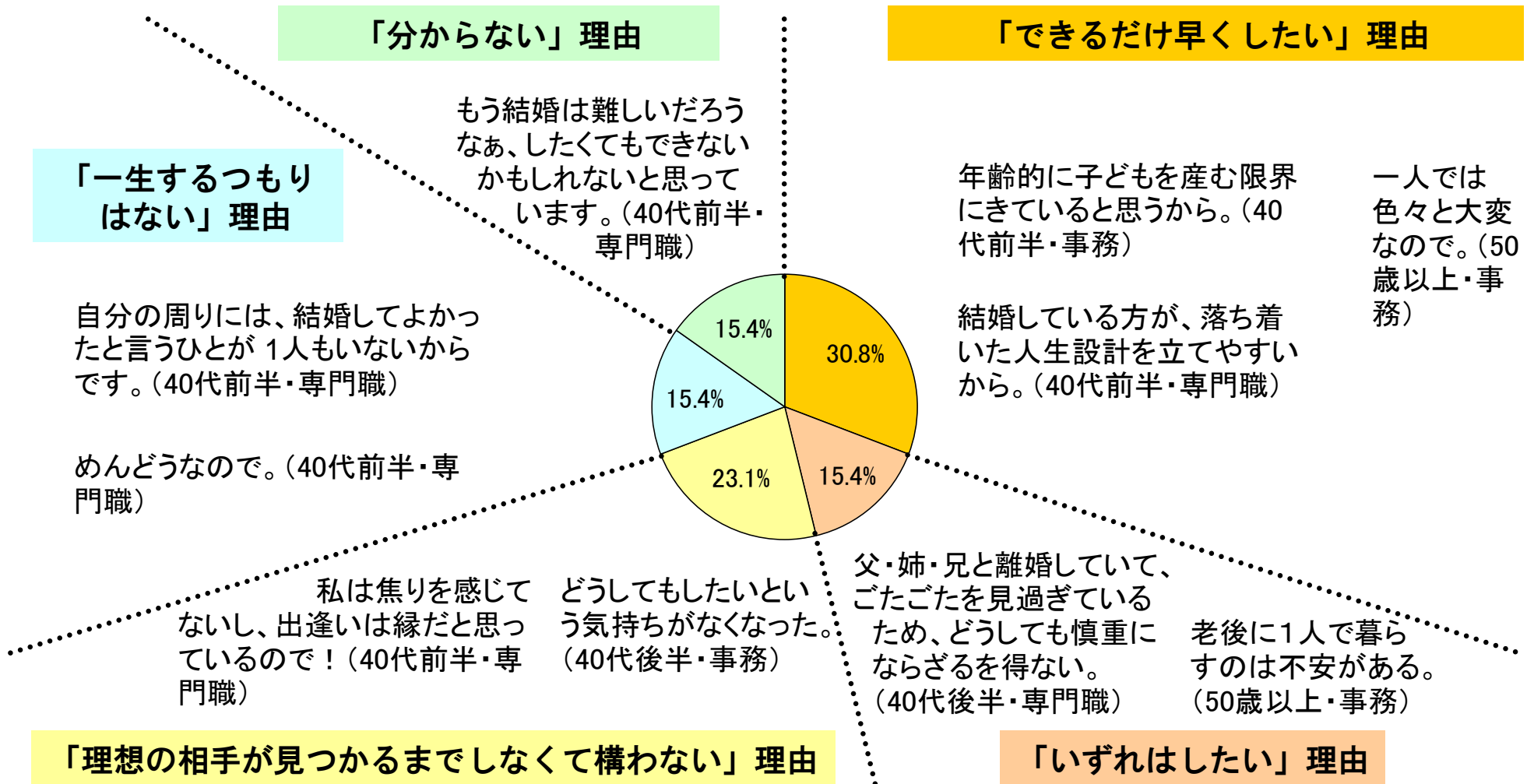


「できるだけ早くしたい」理由、最多は「子どもがほしいから」。子どもを望む気持ちが結婚への焦りをかき立てているという、30代女性の切実な思いが読み取れる。一方「いずれはしたい」「理想の相手が見つかるまでしなくて構わない」理由は、「タイミングがあれば」「妥協や我慢はしたくない」「結婚以外にも幸せはある」など、結婚そのものへの価値の置き方が、20代の頃から変わっている様子も垣間見える。

結婚への執着やあきらめも垣間見える40代

Q6. Q5の理由を教えてください【40代】 (自由記述)

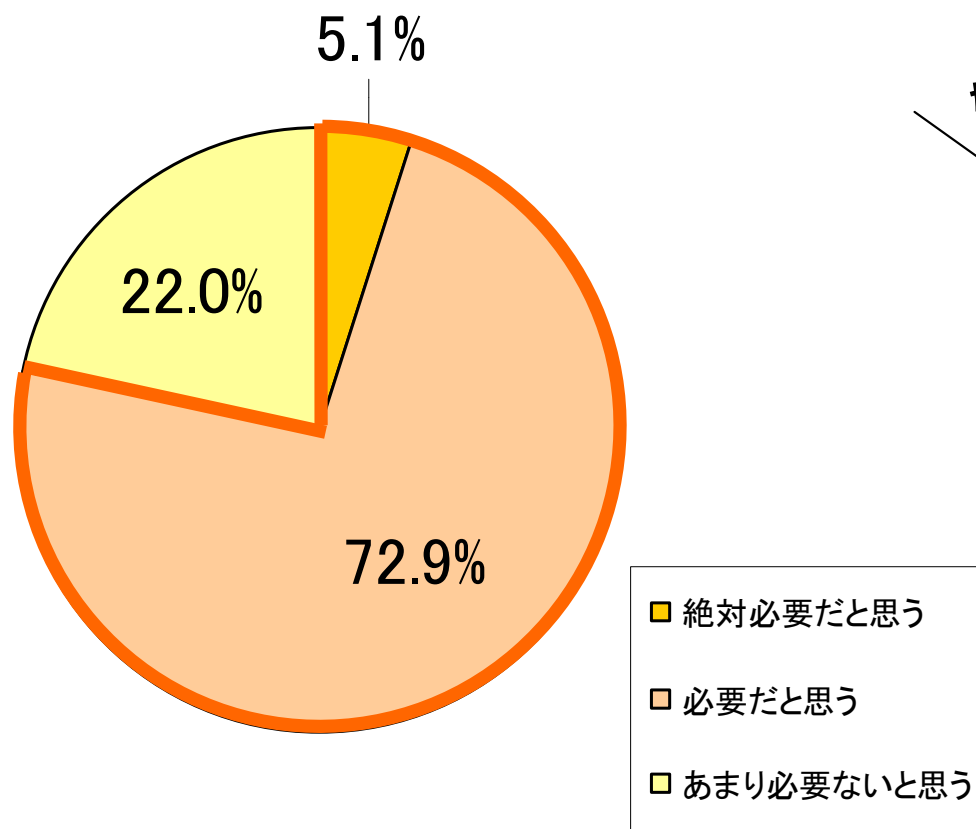
n=14



「できるだけ早くしたい」から「分からない」まで、それぞれの多様な意見がみられた。結婚・出産に対する執着や価値の置き方、諦めなど、様々な理由で意見が分散しているようだ。

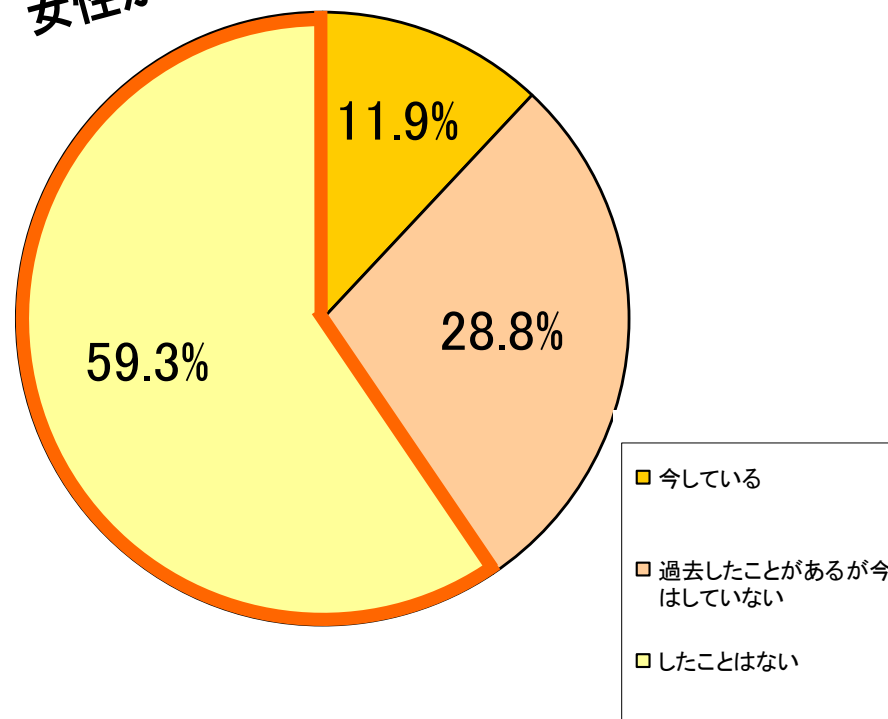
「結婚に婚活が必要」と思っているのに、行動していない！

Q7. 結婚するために婚活は必要だと思いますか？



Q8. 婚活をしたことがありますか？ ⁿ⁼⁵⁹

婚活をしたことがない
女性が6割も！



結婚のために婚活が「絶対必要だと思う」「必要だと思う」を合わせると、なんと約8割にのぼる。結婚激戦区である福岡だからこそ、何もせずには結婚にはたどり着けないと考えている女性が大多数いるということが判明。にも関わらず婚活を「今している」「過去したことがある」のは、全体の約4割のとどまる。婚活が必要だと頭では分かっているのに、実際に行動へと移せていない現実。未婚女性たちのジレンマが明らかに。

一度でも経験すれば、婚活のイメージは変わる！

Q9. 「婚活」に対して、どんなイメージを持っていますか？（自由記述）

n=59

<婚活経験者＝プラスイメージ>

しないよりはしたほうが結婚のチャンスかあると思う。(20代後半・事務)

新しい出会いの場。週末のイベントといった感じ。(20代後半・事務)

別に偏見はない。(30代前半・事務)

積極的でいいと思います！昔はお見合いで、今は婚活になったんだろうなと思う。(40代後半・事務)

前はいいイメージがなかったけれど、少しでも早く良い出会いを引き寄せる手段にもなるし、自分磨きにも繋がるので、今はいいイメージを持っている。(30代前半・事務)

参加してみると案外素敵な方に出会えたりして、結婚への意識や美意識が高まるので、参加した方がいいと思う。(30代前半・事務)

大人数の合コンパーティなどはまったくワクワクしない。方法次第で楽しくなったり、辛くなったりと思うので、自分に合った方法を見つけたい。(30代後半・事務)

<婚活未経験者＝マイナスイメージ>

結婚に対してとても真剣な思いを持つ 積極的でいいと思う人が行うもののようなイメージがある (30代後半・事務)

とてほしいけど、その場に知ってる人がいたらイヤなので、怖くて行けない。(30代前半・専門職)

必死な感じがする。(30代後半・専門職)

結婚を急いでいる。(30代後半・事務)

どうしても「玉の輿狙い」というイメージがあります。自分のことは棚に上げて、見た目や年収、仕事などの条件で相手を選んで…みたい。(40代前半・専門職)

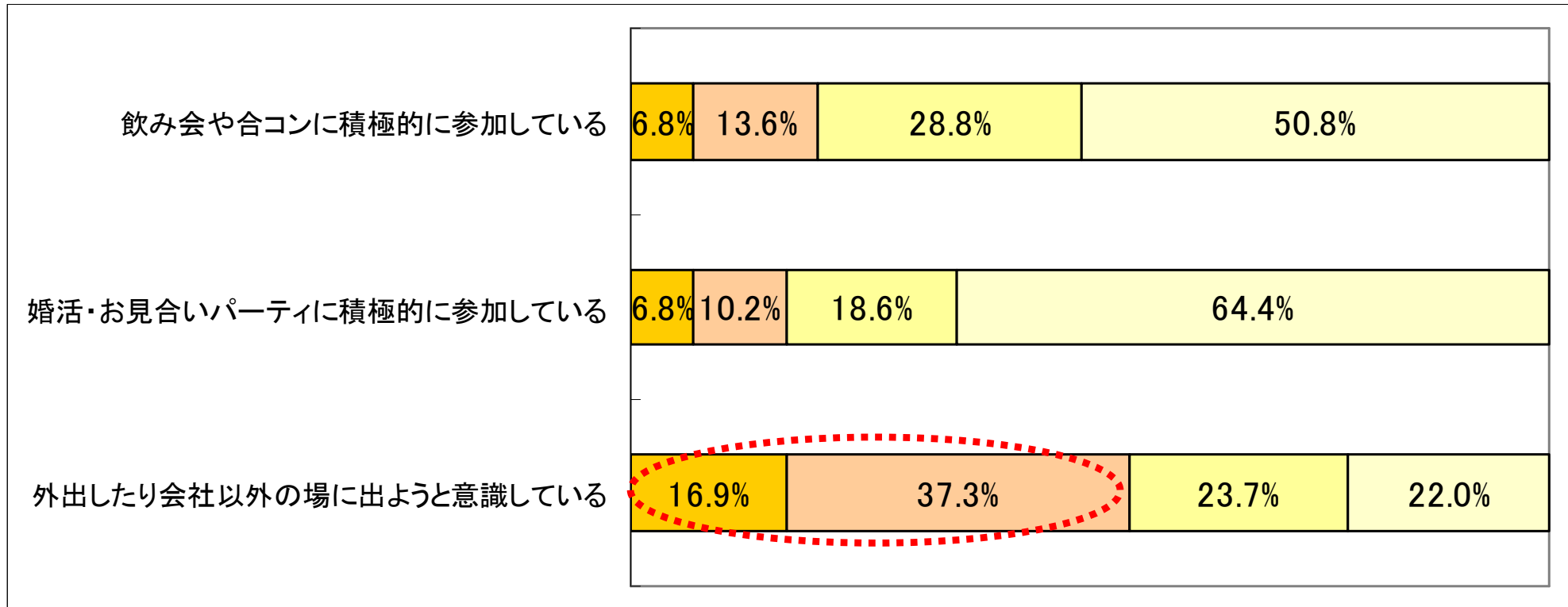
きちんとした紹介所とかで真面目に相手を選ぶのはいいと思うけれど、たくさん出会いの場に行って相手探し、というのはあまりいい印象を受けない。(20代前半・専門職)

婚活へのイメージは、婚活経験者ではプラスイメージが多く、未経験者ではマイナスイメージが多い、と意見が大きく異なる結果に。結婚に婚活が必要と思っているのに行動していない理由のひとつは、まさに「婚活未経験者の婚活に対するマイナスイメージ・抵抗感」。未経験であるほど、婚活へのハードルは高く、強い抵抗感を抱いている。そんな女性たちに、いかに気軽に、抵抗感なく婚活へと足を運ばせるか。いかにも「婚活」というガツガツしたイメージをやわらげ、自然に、気軽に出会える場だと思わせる仕掛けやPR方法が必要だ。

直接的な婚活はしないけど、出会いの場は広げたい！

Q10-1. 「いい男性」と出会うために努力していることはありますか？（4段階評価）

n=59

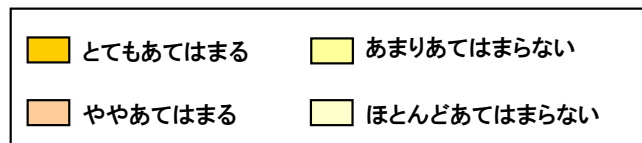
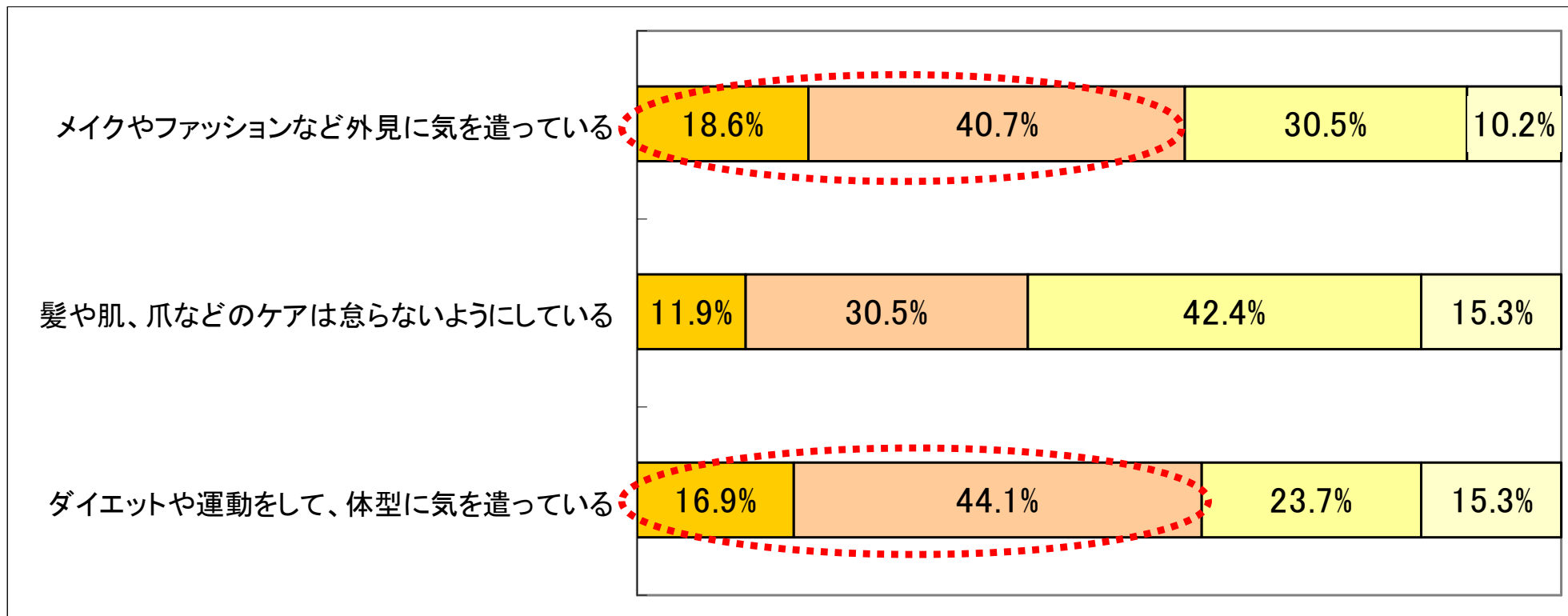


“婚活”に対するマイナスイメージからか、「飲み会や合コンに積極的に参加している」「婚活・お見合いパーティに積極的に参加している」に関しては、「あまりあてはまらない」「ほとんどあてはまらない」が約8割を占めた。

一方「外出したり会社以外の場に出ようと意識している」は、5割以上が「とてもあてはまる」「ややあてはまる」と回答。出会いを求めて外に出ようとする女性達は多い様子。いかにも“婚活”という場ではなく、気軽で、自然で、婚活らしさを感じさせない出会いの場を提供すれば、参加する女性はきっと多いはず！

出逢いのため、外見、体型・・・自分磨きは怠らない！

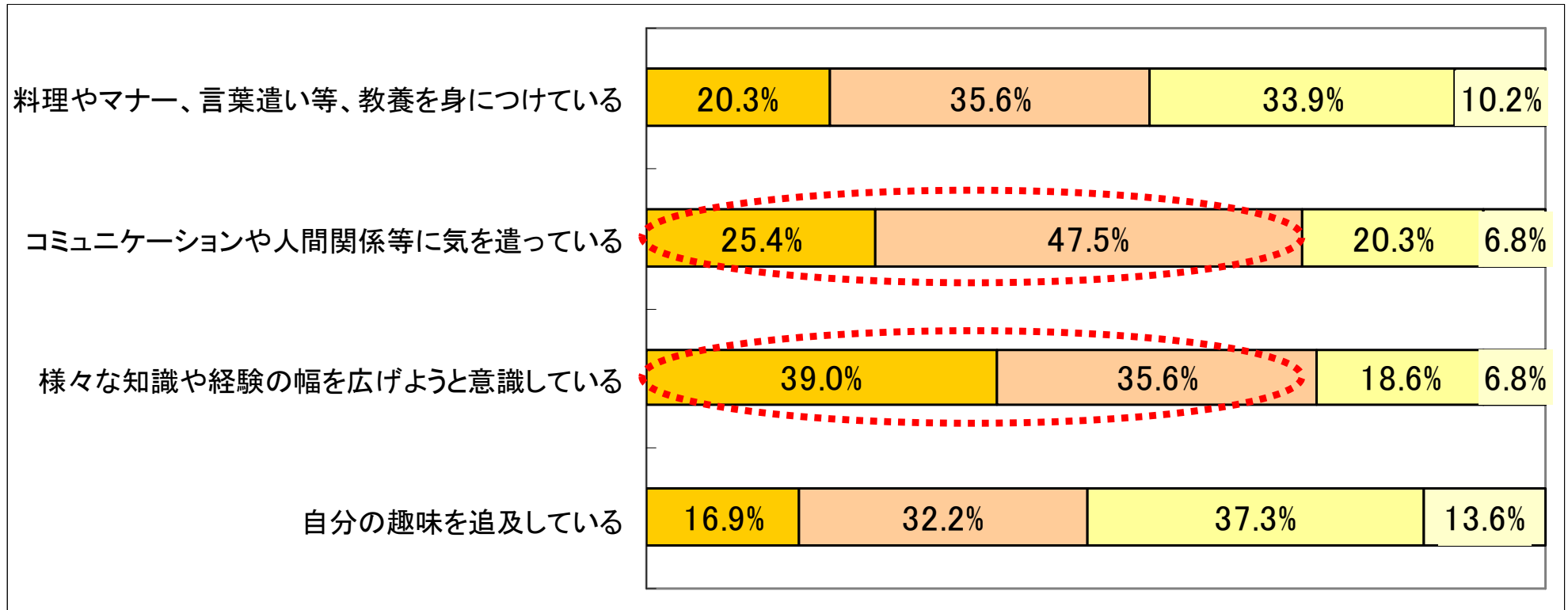
Q10-2. 「いい男性」と出会うために努力していることはありますか？（4段階評価） n=59



「メイクやファッションなど外見に気を遣っている」「ダイエットや運動をして、体型に気を遣っている」には、約6割が「とてもあてはまる」「ややあてはまる」と回答。また「髪や肌、爪などのケアは怠らないようにしている」には、約4割が「とてもあてはまる」「ややあてはまる」と回答。結婚や出会いのために、外見や体型、髪や爪などにも気遣い、自分磨きに努力する女性達の様子が垣間見える。

見かけだけでなく、内面も磨く努力をしている女性たち

Q10-3. 「いい男性」と出会うために努力していることはありますか？（4段階評価） n=59



とてもあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 ほとんどあてはまらない

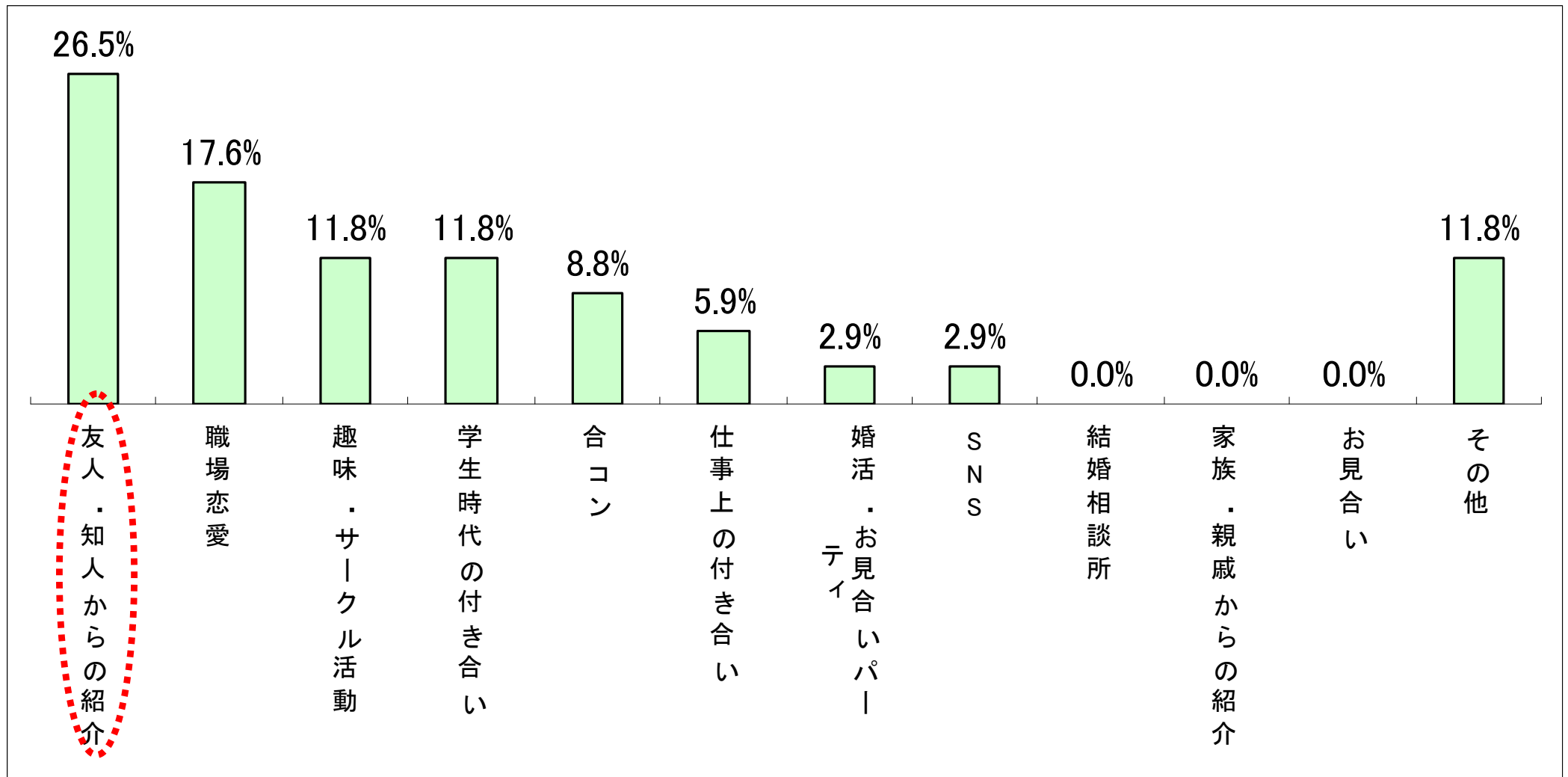
どの項目にも「あてはまる」という回答が半数以上を占める結果に。特に「コミュニケーションや人間関係等に気を遣っている」「様々な知識や経験の幅を広げようと意識している」には、実に7割以上が「とてもあてはまる」「ややあてはまる」と回答。結婚のために、外見や体型などの見た目だけではなく、趣味や教養、知識など内面から自らに磨きをかけようとする女性は多数いることが判明。趣味、教養と結婚・出会いをからめたセミナーやイベント、講座などの需要は高いはずだ。

2 既婚女性の経験談

結婚相手は、人脈と職場、さらに多様な場にチャンスあり！

Q1. 夫との出会いのきっかけは何でしたか？

n=34

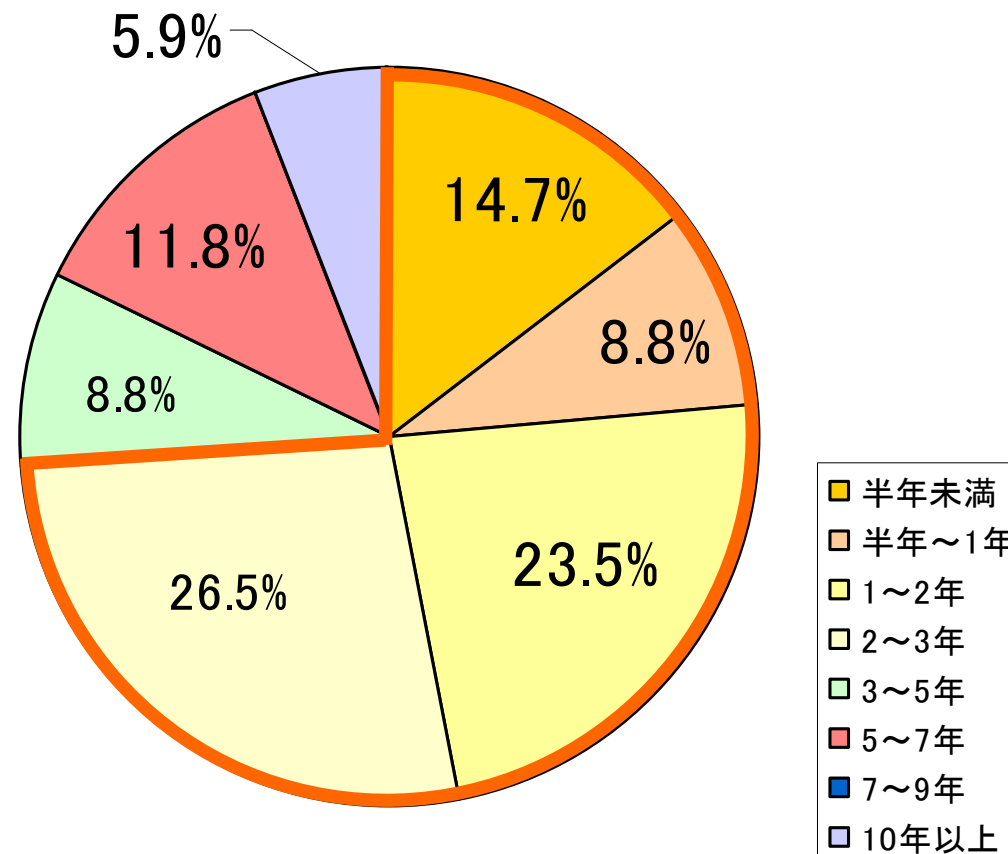


第1位は「友人・知人からの紹介」。そして「職場恋愛」「趣味・サークル活動」「学生時代の付き合い」が続く。結婚相手との出会いは、信頼のおける人脈から、という場合が多いようだ。または職場や趣味、学生時代の人脈、合コンなど、ひとつの場だけではなく、様々な場所に運命の人との出会いは待っている。

結婚を決めるなら、付き合って3年以内！

Q2. 交際をはじめて結婚までの期間はどのくらいでしたか？

n=34

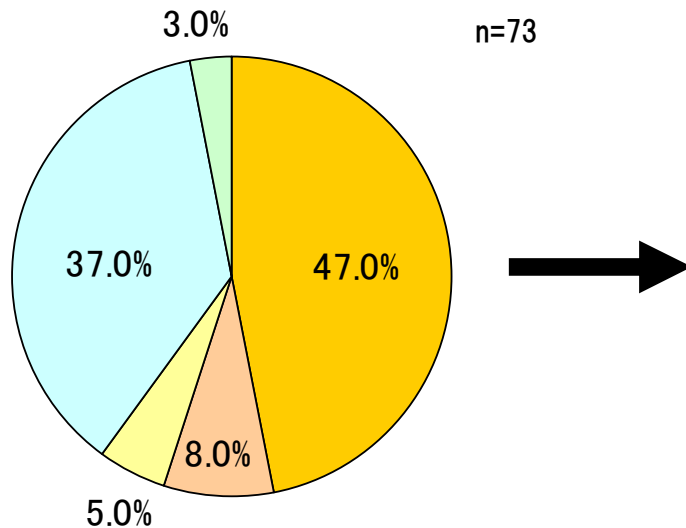


「半年未満」「半年～1年」が約23%。既婚者の4人に1人はスピード婚だと判明。また、最多は「2～3年」の約26%。交際から「3年以内」に結婚を決めた人が、全体の約7割強。今の相手と結婚を決めたいなら、交際から3年以内が勝負か！？

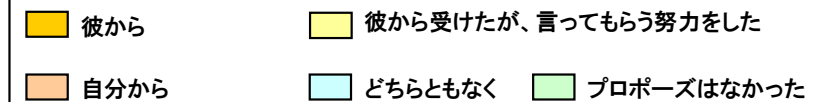
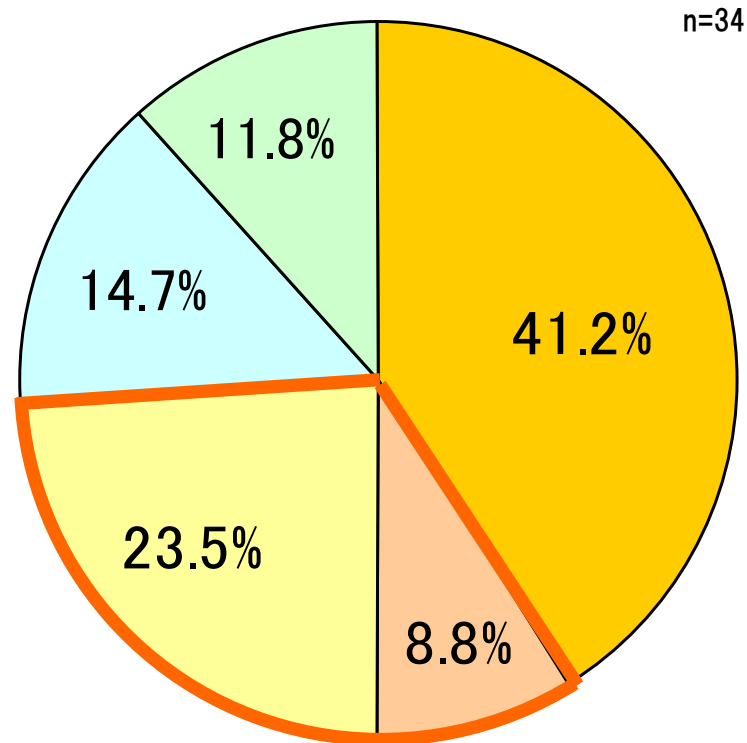
男性は草食化、結婚は女性が仕掛けるべし!?

Q3. プロポーズはどちらからでしたか？

【比較】 2009年7月のアンケート結果



2009年7月婚活ブームを検証する！アンケート調査結果
(avanti働く女性研究所調べ)



「彼から」が最多の4割。2009年と比較すると、「自分から」「彼から受けたが、言ってもらった努力をした」が、約1割から約3割へと明らかに増加し、「どちらともなく」が約4割から約2割へと減少していることが判明。男性の草食化が叫ばれる今、結婚を男性任せにしているのは埒が明かないようだ。女性から仕掛けることが、結婚を決める近道なのかもしれない。

決め手は「価値観」「人柄」「タイミング」も重要か

Q4. 夫との結婚を決めたときの【決め手】は何でしたか？（自由記述）

n=34

第1位 価値観

- ・価値観が同じ。自分の生き方の方向性が同じ相手だと思った。
- ・「一緒にいると一生飽きない」と思ったので。

第2位 人柄・優しさ

- ・それまでは面食いだっただのに、夫に関しては容姿や見た目ではなく、人柄や性格、優しさにひかれた。
- ・自分を一番に考えてくれる優しさ。

第3位 タイミング

- ・結婚してみるのもいいかな、と軽い気持ちで踏み切りました。
- ・付き合いが5年以上になったので。

第4位 居心地のよさ ・一緒にいて居心地がよかったので。

第5位 夫の押しの強さ ・夫が強気でちょっと強引だったところ。

第6位 愛情 ・顔も性格もとにかく好きだったことです。

その他

- ・夫の転勤。
- ・彼を実家に連れて行ったとき、両親が「今までの中で最高！結婚すれば？」と言われて。

第1位は「価値観」。第2位は「人柄」。未婚女性の結婚相手に重視するもののトップ2が、やはり結婚の大きな決め手になるようだ。

第3位は「タイミング」。ずるずると付き合い続けるのではなく、タイミングがきたら、ずっと結婚へと踏み切るのがポイントか。

また、第4位以降には「居心地のよさ」「夫の押しの強さ」「愛情」などが続く結果に。

夫への妥協点は「なし」 or 「収入・外見」

Q5. 夫との結婚を決めたときの【妥協したこと】は何でしたか？（自由記述）

n=34

第1位 なし

第2位 収入

- ・収入。妥協というか、一緒に働けば何とかかなと思ったから。
- ・夫の収入が不安定なので、金銭的には頼らないと覚悟を決めて結婚した。

第3位 容姿・外見

- ・顔はあまり自分の好きなタイプではなかった。
- ・もう少し身長が高ければ完璧なのに～と思ったことはあります。

第4位 自分のキャリア・仕事の継続

- ・自分のキャリアの自由度。東京など、新しい世界で新たなことに挑戦したいと思っても、結婚するとなかなか難しくなるので。
- ・転勤族のため、仕事を辞めなければならないかもしれないという覚悟はしました。

第5位 居住地

- ・遠方に嫁ぐこと。地元で結婚後も暮らしたかったが、妥協した。

その他

- ・彼の両親が恐ろしかったところ。 ・家事能力 ・価値観の違い

第1位は「なし」。夫への妥協点がないからこそ結婚を決めた人も多い様子。

第2位は「収入」。未婚女性の結婚相手に重視するものの第3位に入っていた項目が、妥協点の第2位にランクイン。共働きであればクリアできる条件だと考えれば、未婚女性の選択の幅も広がるか？

第3位は「容姿・外見」。人柄や価値観が合格点以上なら、見た目はある程度我慢できるもの！？

そして第4位は「自分のキャリア・仕事の継続」、第5位は「居住地」と続く結果に。

安心感・成長・家事分担など、結婚のよさはたくさん

Q6. 結婚して想像以上によかったこと、幸せに感じたことは何ですか？（自由記述） n=34

一人じゃないという安心感がこんなにもあるんだな、と結婚して分かりました。夫も最初は「結婚は自由がなくなる」「まだ早い」と躊躇していたようですが、いざ結婚してみると「結婚してよかった」としきりに言うので、そう思ってくれるのが幸せです。（30代前半・その他）

何かあった時にそばにいてくれる夫の心強さ。自分と自分の両親以外に頼れる人の存在。親友以上の心のつながりが感じられること。（30代前半・専門職）

お互いの欠点も、妥協点も2人で克服し、それをばねにお互い成長して行って、さらなる信頼感、絆で結ばれていく感じがとても良いです。（30代後半・専門職）

楽しい時も苦しい時も2人で分かち合い生きていけること。そばにいてくれる安心感は大きい。風邪をひいて寝込んでいる時に、看病してくれる存在がいるのはとても嬉しかった。（30代前半・事務）

何でも聞いてくれて、味方になってくれる存在ができたこと。（20代後半・専門職）

家事をよく手伝ってくれるところ。（30代後半・その他）

仕事でへとへとの人に晩御飯やお弁当を作ってくれる夫にうるうる。夫も仕事で疲れているのに、ありがたいです。（20代後半・事務）

彼の料理がとても美味しい。子どもが生まれてからは、料理の腕をふるいながら子育ても頑張ってくれています。お陰で私は好きな仕事をしっかりできるし、帰宅すれば家族が暖かく迎えてくれる。本当に幸せだなあと思える瞬間です。（30代後半・専門職）

「一人じゃない」「何かあったときにそばにいてくれる」など【安心できる存在がいること】、そして「いいことも悪いことも分かち合う」など【成長できる、味方でいてくれる存在ができたこと】を挙げる人が多数。また「家事」「育児」など、【夫の家事・育児協力】を挙げる人もおり、夫と妻の家事・育児分担がすすんでいる様子も垣間見える。

感謝、会話、ムリしない…夫婦円満のヒント

Q7. 円満な夫婦関係のために普段から気をつけていること、努力していることはありますか？（自由記述） n=34

感謝の気持ちを伝える。(20代後半・事務) 他多数

コミュニケーションをとにかくとること。(30代前半・専門職) 他多数

不満や我慢はしない。とりあえずお互いを思いやることと不満や我慢はなるべく話し合うようにしている。(30代後半・事務)

相手をねぎらう。いい部分を誉める。何でも隠さずに言いたい事はある。(30代後半・専門職)

「育ってきた環境が違うから、好き嫌いは否めない」という、セロリの歌詞を結婚の座右の銘にしています。お互いのこれまで積み重ねてきた環境や考え方を否定しないことは心がけたいと思っています。(30代前半・事務)

いい意味で私は私、あなたはあなたを大切にしています。不満に思うことがあればなるべく早いうちに伝え、どうすればよいかを考えるようにもしています。突き詰めると、どちらが上か下かではなく、お互いが対等で相互に依存しあって生きていることを自覚し続けていることかも。(30代前半・その他)

お互いを尊重しあって、一緒に行動できる時は一緒にいるし、一人でいる時間も大切にする。何気ない毎日を大切に無理をせず生活すること。(30代前半・事務)

相手を責めすぎず、自分に非があるときはそれを認めて反省すること。(40代前半・専門職)

相手の家族を批判しない。(40代後半・その他)

相手にばかり期待しない、頼らない。(40代前半・専門職)

「感謝の気持ちを伝える」「コミュニケーションをとる」の2つの意見が多数挙がっていた。やはり【感謝】と【会話】は夫婦間の潤滑油となっているようだ。また「我慢しない」「相手を否定しない」「互いを尊重する」など、結婚生活を円滑にすすめる努力がたくさん。「相手の家族を批判しない」「相手に期待しない」など、達観したヒントも。

【総括】福岡の未婚女性たちの結婚観は・・・

◆恋人のいる未婚女性は4割。結婚ブームの2009年より1割低下。

未婚女性のうち、交際相手がいるのは約4割。2009年と比較すると、交際相手がいる人の割合は約1割強、下がった結果になった。

◆出会いのきっかけは、職場、飲み会。そして、紹介やSNSも。

職場や飲み会の場は最も身近な出会いの場となっている。また、人脈に頼るのはもちろん、近年定着しているネット上のつながりも、今や男女の貴重な出逢いのひとつとなっているようだ。

◆結婚相手に求める条件トップ3は、「性格・人柄」「価値観」「収入」。

未婚女性は、相手との性格や価値観の一致はもちろん、恋愛感情と同じくらい収入面も気になる。結婚相手だからこそ、冷静な目をもって相手を選んでいる様子。

年代別にみると・・・

【20代】「趣味・嗜好」や「仕事への理解度」「家事・育児能力」を求めるライフスタイル重視型。

【30代】他年代と比べて最も「性格・人柄」と「恋愛感情」を重視。また「容姿・外見」「年齢」を求めており、好条件を望む夢見型。

【40代】他年代と比べて「恋愛感情」が最も低く、「性格」「価値観」「収入」以外はあまり気にしない、冷静な現実重視型。

◆結婚願望、20代は焦らない、30代は切迫、40代は意見が多様化。

結婚を「できるだけ早くしたい」が20代では減少、30代では上昇していることが判明。一方、多様な価値観をもつようになった40代は意見が多様化する傾向に。

◆約8割が「結婚には婚活が必要」と回答しつつも、婚活未経験者は6割も。

結婚のために婚活をしたほうがいいとは思いつつも、行動に移していない女性が多数。また、婚活経験がない人ほど、婚活への抵抗感が強いことが判明。いかに抵抗感なく、気軽に参加できる場があるかどうか、女性たちを前向きな婚活へと誘う第1歩だ。

◆外見はもちろん内面も。出会いのために、日々自分磨きに努力する女性たち。

あからさまな婚活はしていないが、外見や体型を磨く努力や、知識や教養を身につけようとがんばる女性達の姿が顕著に。出会い・結婚のために自分磨き消費に積極的な女性は多数！

【総括】既婚女性たちの経験から学べることは…

◆夫との出会いは「友人・知人からの紹介」といろいろな場にチャンスが。

信頼のおける人脈から結婚相手を見つけた人が多いよう。また「職場恋愛」「趣味・サークル活動」「学生時代の付き合い」「合コン」など、ひとつの場だけではなく、様々な場所に運命の人との出会いは待っている。

◆結婚を決めるなら、3年以内がカギ！

交際から「3年以内」に結婚を決めた人が、全体の約7割強。今の相手と結婚を決めたいなら、交際から3年以内が勝負か！？

◆プロポーズは、女性から仕掛けることも必要！

2009年と比較すると、「自分から」「彼から受けたが、言ってもらった努力をした」が、約1割から約3割へと明らかに増加し、「どちらともなく」が約4割から約2割へと減少していることが判明。男性の草食化が叫ばれる今、結婚を男性任せにせず女性から仕掛けることが、結婚を決める近道なのかもしれない。

◆結婚相手に妥協したこと…「収入」や「外見」は意外とクリアできる条件。

結婚相手に妥協したこと第2位は「収入」。未婚女性の結婚相手に重視するもの第3位に入っていた項目が、妥協点の第2位にランクイン。共働きであればクリアできる条件だと考えれば、未婚女性の選択の幅も広がるか？そして第3位は「容姿・外見」。人柄や価値観が合格点以上なら、見た目はある程度我慢できるもの！？

◆結婚のよさは、安心感・お互いの成長・夫の協力体制。

結婚してよかったことは、【安心できる存在がいること】【成長できる、味方でいてくれる存在ができたこと】を挙げる人が多数。また【夫の家事・育児協力】を挙げる人もおり、家事・育児に協力的な夫のサポートが得られるというメリットも。

◆夫婦円満の秘訣は、感謝と会話。そして、お互いを尊重すること。

【感謝】と【会話】は、やはり夫婦間の潤滑油となっているようだ。また「我慢しない」「相手を否定しない」「互いを尊重する」など、結婚生活を円滑にすすめるために、様々な努力をしている様子が伺えた。

男性より女性が多く、結婚激戦区ともいわれる福岡。実際に交際相手のいる未婚女性は数年前より減少し、特に30代では結婚への焦りを感じる女性も増えている。直接的な婚活にはなかなか行動を移せない彼女達だが、出会いのために、外見はもちろん、趣味や教養、知識など、自分磨きには積極的。彼女たちの抵抗感を減らし、いかに自然に気軽に参加できる出会いの場を演出できるかどうか、女性たちを婚活へと誘うためのカギといえる。

また、既婚女性たちの意見からは、自ら結婚を仕掛ける努力や、相手の収入・外見にこだわらないことが、結婚をつかんだ一要因だと判明。目先の条件にとらわれない柔軟な姿勢こそ、結婚の近道だ。



本件に関するお問合せは、
株式会社アヴァンティ まで

avanti

【データご利用の際のお願い】

データの引用、出版・印刷物への転載に関しては、出典元を「avanti働く女性研究所調べ」と明記していただければ、基本的にご利用いただけます。また、ご使用に際しては必ず下記の「avanti働く女性研究所」窓口までご一報ください。

E-mail : labo@e-avanti.com

TEL : 092-724-3226